

組 番 氏名 \_\_\_\_\_ / 100点

## 本文

あはれなることは、おりおはしましける〔①〕夜は、藤壺の上（うへ）の御局（みつぼね）の小戸（こど）より出（い）でさせ給（たま）ひけるに、有明（ありあけ）の月のいみじく明（あ）かかりければ〔②〕、「顕証（けそう）にこそありけれ。いかがすべからむ。」と仰（おほ）せられけるを、「さりとて、とまらせ給ふべきやうはべらず〔③〕。神璽（しんじ）・宝剣（ほうけん）わたり給ひぬるには。」と粟田殿（あはたどの）〔④〕のさわがし申し給ひけるは、まだ帝（みかど）出（い）でさせおはしまさざりけるさきに、手づから取りて、春宮（とうぐう）の御方（おんかた）にわたし奉り給ひてければ、帰り入（い）らせ給はむことはあるまじく思（おぼ）して、しかさわがし申し給ひけるとぞ。

さやけき影をまばゆく思（おぼ）し召（め）しつるほどに、月の顔にむら雲のかかりて、すこし暗がりゆきければ、「我（わ）が出家は成就（じやうじゆ）するなりけり〔⑤〕。」とて、歩み出でさせ給ふほどに、弘徽殿（こきでん）の女御（にようご）の御文（おんふみ）の、日ごろ破（や）り残して御身（おんみ）も放（はな）たず御覧（ごらん）じけるを思（おぼ）し召（め）し出でて、「しばし。」とて、取りに入（い）らせ給ひける程（ほど）ぞかし、粟田殿の、「いかにかくは思し召しならせおはしましぬるぞ。ただ今過（す）ぎば、おのづから障（さは）りも出（い）でまうで来（き）なむ〔⑥〕。」と、そら泣きし給ひけるは。

花山寺（くわざんじ）におはしましつきて、御髪（みぐし）おろさせ給ひて後（のち）にぞ、粟田殿は、「まかり出（い）でて、大臣（おとど）にも、変はらぬ姿、いま一度（ひとたび）見え、かくと案内（あんない）申して、必ず参り侍（はべ）らむ〔⑦〕。」と申し給ひければ、「われをばはかるなりけり。」とてこそ泣かせ給ひけれ。あはれに悲しきことなりな。日ごろ、よく、「御弟子（みでし）にて候（さぶら）はむ。」と契（ちぎ）りて、すかし申し給ひけむ〔⑧〕が、おそろしさよ。粟田殿の、いかにかなしく思（おぼ）されけむ〔⑨〕。

※ふりがな・送り仮名は読みやすさのために補ったものです。表記には写本・教科書により小異があります。

## 設問（全20問）

- 傍線部①「おりおはしましける」について、次の各問いに答えなさい。
  - (a) 現代語訳しなさい。
  - (b) 「おり」とはここではどういうことか、漢字を補って意味を答えなさい。
  - (c) 「おはします」は誰に対する敬意を表すか答えなさい。
- 傍線部②「有明の月のいみじく明かかりければ」について、次の各問いに答えなさい。
  - (a) 現代語訳しなさい。
  - (b) 「有明の月」とはどのような月のことか、簡潔に説明しなさい。

3. 「顕証にこそありけれ。いかがすべからむ。」について、次の各問いに答えなさい。
- (a) このせりふを言ったのは誰か答えなさい。
  - (b) 「顕証にこそありけれ」とはどういう意味か、現代語訳しなさい。
  - (c) 「すべからむ」の「べから」の文法的意味（助動詞「べし」の意味）を答えなさい。
4. 傍線部③「さりとて、とまらせ給ふべきやうはべらず」について、次の各問いに答えなさい。
- (a) この発言をしているのは誰か答えなさい。
  - (b) 全体を現代語訳しなさい。
  - (c) 「給ふ」は誰から誰への敬意か答えなさい。
  - (d) 「はべら」の文法的意味（種類）を答えなさい。
5. 傍線部④「栗田殿」について、次の各問いに答えなさい。
- (a) 実際にはだれを指すか、フルネーム（人物名）で答えなさい。
  - (b) この人物の父はだれか、人物名で答えなさい。
6. 「神璽・宝剣わたり給ひぬる」の「わたり」「ぬる」について、次の各問いに答えなさい。
- (a) 「わたり給ひ」とあるが、神璽・宝剣を実際にうつしたのは誰か答えなさい。
  - (b) 「ぬる」は助動詞「ぬ」の連体形である。その文法的意味を答えなさい。
7. 栗田殿が、帝がまだ出てこないうちに自分の手で神璽・宝剣を春宮にお渡ししてしまったのはなぜか。本文に即して説明しなさい。
8. 傍線部⑤「我が出家は成就するなりけり」について、次の各問いに答えなさい。
- (a) 現代語訳しなさい。
  - (b) このように帝が思ったのはなぜか。本文中の月のようすに触れて、二十五字以内で説明しなさい。
9. 傍線部⑥「ただ今過ぎば、おのづから障りも出でまうで来なむ」について、次の各問いに答えなさい。
- (a) 現代語訳しなさい。
  - (b) 文末「来なむ」の「な」「む」はそれぞれ何という助動詞か、文法的意味とともに答えなさい。
  - (c) 栗田殿はなぜこのように言ったのか。そのねらいを説明しなさい。
10. 「そら泣きし給ひけるは」について、次の各問いに答えなさい。
- (a) 「そら泣き」とはどういう意味か答えなさい。
  - (b) このとき栗田殿はどのような気持ちで「そら泣き」をしたのか、説明しなさい。
11. 傍線部⑦「まかり出でて、……必ず参り侍らむ」について、次の各問いに答えなさい。
- (a) 「まかり出で」「参り」はそれぞれ何という敬語（種類）か答えなさい。

- (b) このことばは本心からのものか。本文の語句を根拠に、粟田殿の本当のねらいを説明しなさい。
12. 「われをばはかるなりけり。」について、次の各問いに答えなさい。
- (a) このせりふを言ったのは誰か答えなさい。
  - (b) 「はかる」とはここではどういう意味か答えなさい。
  - (c) このときの帝（花山天皇）の心情を説明しなさい。
13. 傍線部⑧「すかし申し給ひけむ」について、次の各問いに答えなさい。
- (a) 「すかし申し」とはどういう意味か答えなさい。
  - (b) 「けむ」は何という助動詞か、文法的意味とともに答えなさい。
14. 傍線部⑨「粟田殿の、いかになしく思されけむ」について、次の各問いに答えなさい。
- (a) この一文は登場人物のせりふか、それとも語り手（書き手）のことばか答えなさい。
  - (b) 誰のどのような気持ちを言ったものか、簡潔に答えなさい。
15. 「春宮の御方にわたし奉り給ひてければ」の「奉り」は、誰から誰への敬意を表す敬語か。種類（謙讓・尊敬・丁寧）も含めて答えなさい。
16. 本文冒頭「あはれなることは」の「あはれなり」とはここではどのような気持ちを表すか、簡潔に答えなさい。
17. 本文中の「思（おぼ）し召（め）し出でて」は誰の動作か。また「思し召す」は何という敬語（種類）か、答えなさい。
18. 傍線部⑤「成就するなりけり」の「なり」の文法的説明として正しいものを、次から一つ選びなさい。
- ア 断定の助動詞「なり」の連用形
  - イ 伝聞・推定の助動詞「なり」の連用形
  - ウ ナリ活用形容動詞の活用語尾
  - エ 四段動詞「なる」の連用形
19. この場面で、花山天皇が出家を決意した（退位した）背景には、ある女性の死があったとされる。花山天皇が深く寵愛し、その死を悲しんだとされる女御はだれか。本文中の「弘徽殿の女御」の御文に関連づけて、知っていることを答えなさい。
20. 【文学史】『大鏡』について、次の各問いに答えなさい。
- (a) 『大鏡』は内容のうえで何という種類の作品に分類されるか。
  - (b) 歴史を「本紀・列伝」の形式でしるす書き方を漢字三字で何というか。
  - (c) 『大鏡』は、二人の老人が昔を語り合うという形式で書かれている。このような書き方を何というか。
  - (d) 『大鏡』『今鏡』『水鏡』『増鏡』を合わせて何と呼ぶか。

